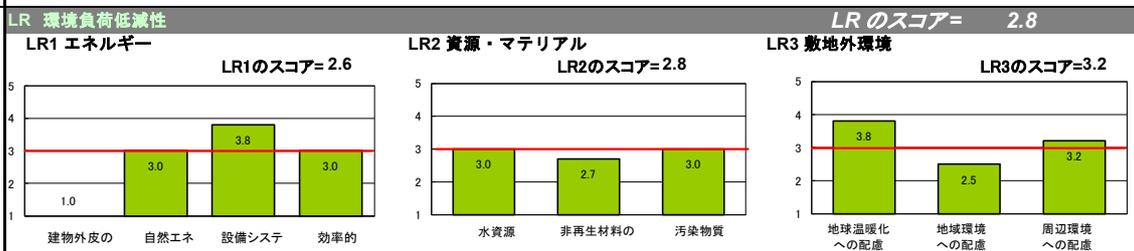
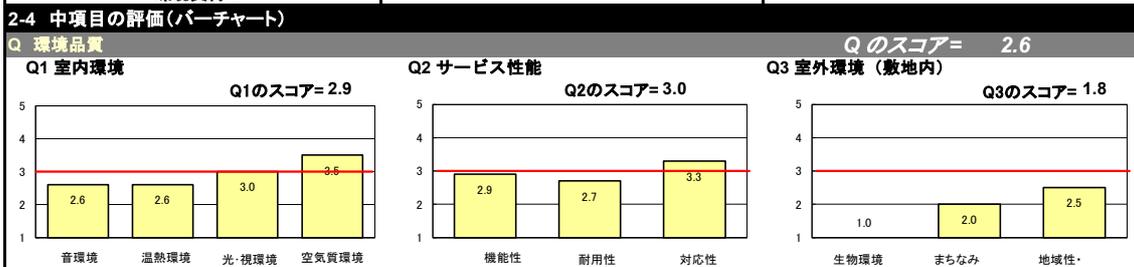
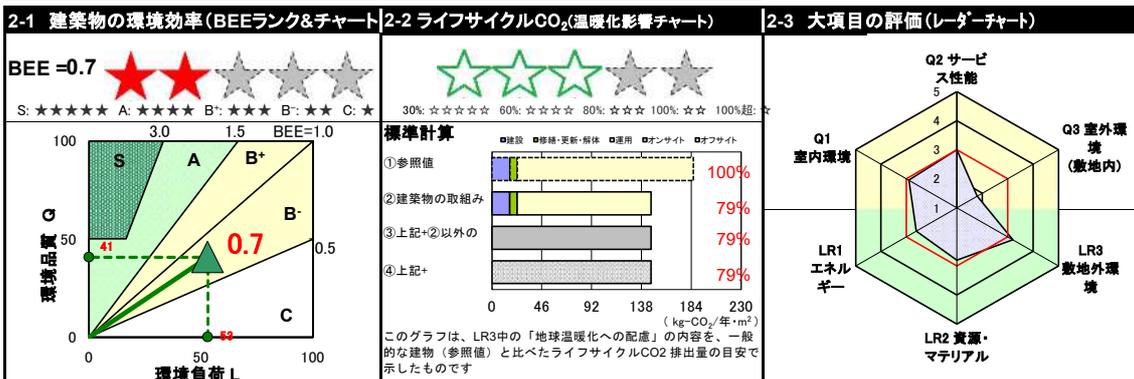


# CASBEE<sup>®</sup> あいち

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	(仮称)カインズ東海店	階数	地下0階地上1階
建設地	東海太田川駅西土地区画整理事業3街区	構造	S造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	2,500 人
気候区分	6地域	年間使用時間	5,000 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年2月 予定	評価の実施日	2005年4月11日
敷地面積	26,820 m <sup>2</sup>	作成者	益田 賢一
建築面積	10,380 m <sup>2</sup>	確認日	2005年4月11日
延床面積	10,350 m <sup>2</sup>	確認者	益田 賢一



**3 重点項目**

<b>①地球温暖化への配慮</b> <b>3.8</b>	<b>③敷地内の緑化</b> <b>1.0</b>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) <b>0.0 %</b>
		建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) <b>0.0 %</b>
<b>②資源の有効活用</b> <b>2.8</b>	<b>④地域材の活用</b> <b>1.0</b>	<外装材に使用した地域性のある材料> なし
		<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{建築面積} - \text{附属物面積}}$  × 100

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$  × 100

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
 (仮称)カインズ東海店

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								
<b>Q1 室内環境</b>								
<b>1 音環境</b>								
1.1 室内騒音レベル		0.1	2.6	0.15	-	-	-	2.6
1.2 遮音		3.0	3.0	0.40	-	3.0	-	
1 開口部遮音性能		0.4	3.0	0.40	-	-	-	
2 界壁遮音性能		-	3.0	1.00	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	3.0	-	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	3.0	-	-	3.0	-	
1.3 吸音		-	1.0	0.20	-	3.0	-	
<b>2 温熱環境</b>								
2.1 室温制御		0.3	2.6	0.35	-	-	-	2.6
1 室温		0.5	3.0	0.50	-	-	-	
2 外皮性能		3.0	3.0	0.50	-	3.0	-	
3 ソーン別制御性		3.0	3.0	0.17	-	3.0	-	
2.2 湿度制御		3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2.3 空調方式		3.0	1.0	0.20	-	3.0	-	
<b>3 光・視環境</b>								
3.1 昼光利用		0.2	3.0	0.25	-	-	-	3.0
1 昼光率		0.5	3.0	0.50	-	-	-	
2 方位別開口		3.0	3.0	-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	3.0	1.00	-	3.0	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-	-	
1 昼光制御		5.0	3.0	-	-	3.0	-	
3.3 照度		3.0	3.0	-	-	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	3.0	0.50	-	3.0	-	
<b>4 空気環境</b>								
4.1 発生源対策		0.2	3.5	0.25	-	-	-	3.5
1 化学汚染物質		0.5	4.0	0.50	-	-	-	
4.2 換気		3.0	4.0	1.00	-	3.0	-	
1 換気量		0.3	3.0	0.30	-	-	-	
2 自然換気性能		3.0	3.0	0.50	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	0.50	-	3.0	-	
4.3 運用管理		0.2	3.0	0.20	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	1.0	0.50	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	5.0	0.50	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>								
<b>1 機能性</b>								
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	2.9	0.40	-	-	-	2.9
1 広さ・収納性		0.4	3.0	0.40	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	3.0	-	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画	独自	3.0	3.0	1.00	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		0.3	2.6	0.30	-	-	-	
1 広さ感・景観 (天井高)		3.0	5.0	0.33	-	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	2.0	0.33	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.0	0.33	-	-	-	
1.3 維持管理		0.3	3.0	0.30	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	3.0	0.50	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	3.0	0.50	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>								
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.3	2.7	0.31	-	-	-	2.7
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.4	3.0	0.48	-	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	3.0	0.20	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		0.3	2.8	0.33	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②	-	3.0	0.23	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	2.0	0.23	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	3.0	0.09	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	3.0	0.08	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	5.0	0.15	-	-	-	
2.4 信頼性		0.1	2.2	0.19	-	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	1.0	0.20	-	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	2.0	0.20	-	-	-	
3 電気設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-	
4 機械・配管支持方法	②	3.0	3.0	0.20	-	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	2.0	0.20	-	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>				0.2	3.3	0.29	-	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			②	0.3	4.2	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり				軒高5.00m以上		5.0	0.60		3.0	
2 空間の形状・自由さ					3.0	3.0	0.40		3.0	
3.2 荷重のゆとり					3.0	3.0	0.31		3.0	
3.3 設備の更新性					0.3	3.0	0.38		-	-
1 空調配管の更新性						3.0	0.17		-	-
2 給排水管の更新性					3.0	3.0	0.17		-	-
3 電気配線の更新性					3.0	3.0	0.11		-	-
4 通信配線の更新性					3.0	3.0	0.11		-	-
5 設備機器の更新性					3.0	3.0	0.22		-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	3.0	0.22		-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>					-	0.30		-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			独自③		1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④		2.0	0.40		-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30		-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④		3.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0	0.50		-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>										2.8
<b>LR1 エネルギー</b>					-	0.40		-	-	2.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=1.09	3.0	1.0	0.30		-	-	1.0
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.20		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.76	3.0	3.8	0.30		-	-	3.8
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20		-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00		-	-	
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価				-	-	-		-	-	
4.1 モニタリング				-	3.0	-		-	-	
4.2 運用管理体制				-	3.0	-		-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					-	0.30		-	-	2.8
1 水資源保護				0.1	3.0	0.15		-	-	3.0
1.1 節水				3.0	3.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.7	0.63		-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.25		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			② 独自		3.0	0.21		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	1.0	0.21		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			② 独自		3.0	4.0	0.25		-	
解体時の分別に努める								-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22		-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68		-	-	
1 消火剤					-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.50		-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.50		-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>					-	0.30		-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			①		3.8	0.33		-	-	3.8
ライフサイクルCO2排出率79%								-	-	
2 地域環境への配慮				0.3	2.5	0.33		-	-	2.5
2.1 大気汚染防止					5.0	0.25		-	-	
燃焼機器を使用していない					1.0	0.50		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				0.2	3.2	0.25		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減			独自		3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制			独自		5.0	0.25		-	-	
立地法に関する対応による					2.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制								-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.2	0.33		-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40		-	-	
1 騒音			独自		3.0	0.50		-	-	
2 振動			独自		3.0	0.50		-	-	
3 悪臭					-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制					3.0	-		-	-	
3 日照障害の抑制					3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	4.4	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちがに漏れる光への対策					5.0	0.70		-	-	
照度、輝度の適正な設定と器具の適正な選択					3.0	0.30		-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策								-	-	

**重点項目スコアシート**  
**(仮称)カインズ東海店**

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.8</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.8</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.7	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>				<b>1.0</b>
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用  $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$  の総和

重点項目スコア=  $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)カインズ東海店

計画上の配慮事項	
総合	自然環境との調和と緑地、賑わいのある環境を目指す。
Q1 室内環境	自然採光の取入れを考慮、LED照明
Q2 サービス性能	床に段差のない売場、車いすトイレ、授乳室の整備
Q3 室外環境(敷地内)	敷地外周の一部に植栽、で地区の街並みに調和 駐車場の出入り口を搬入用と客用を分離
LR1 エネルギー	LED照明による省エネ
LR2 資源・マテリアル	再生材の仕様
LR3 敷地外環境	道路からの車の乗り入れの整理、搬入車両との分離
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。